

岐阜県政記者クラブ加盟社各位

令和８年１１月６日（金）　岐阜県発表資料			
担　当　所　属	担　当　係	担当者	電話番号
岐阜県立森林文化アカデミー 森林技術開発・支援センター	産学官連携係	中村	直通：0575-35-2535 FAX　：0575-35-2529

安全で効率的な林業の実現に向けて
スマート林業機械による「新たな伐採作業システム検討会」を開催します

岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアムでは、県内の森林・林業・木材産業関係者らが中心となって、産学官連携・海外連携による新たな技術開発や普及啓発等に取り組んでいます。

このたび、性別を問わず誰もが携わることができる安全で効率的な林業の実現を目指し、遠隔操作による無人伐採作業車と木材の自動走行運搬車を組み合わせた新たな作業システムの検討会を開催します。

記

１　日　時　第１回　令和8年11月13日（金）10:00～11:30（コンソーシアム会員向け）
第２回　〃　13:30～15:00（一般向け）

２　会　場　郡上市白鳥町阿多岐地内（別紙位置図参照）
「道の駅白尾ふれあいパーク」から県道３１６号で北へ約８ｋｍ

３　参加者　各回とも林業関係者等３０人程度

４　内　容　①新たな作業システム等概要説明
・松本システムエンジニアリング(株)
・(株）諸岡、パナソニックアドバンスドテクノロジー(株)　他
②スマート林業機械デモンストレーション
・松本システムエンジニアリング(株)　シンラプトルⅡでの遠隔操作伐採
・(株）諸岡　フォワーダ　ＭＳＴ－１０００ＶＤＬによる自動走行運搬

５　注意事項
・当日取材される場合は、事前に岐阜県立森林文化アカデミーの担当者（中村）までご連絡願います。
・見学会は林内で行うため、運動靴等動きやすい服装でお越しください。
・ヘルメットをお持ちでない場合はこちらで準備いたします。
・会場に向かう際に林道を走行しますのでご承知おきください。
（四輪駆動車等でお越しいただくことを推奨します）
・少雨決行です。（雨天時の開催有無は担当者までお問い合わせください）

６　主　催　岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアム（※）

【検討会の概要】

本県の林業労働災害発生件数は、林業機械・安全装備品の普及により、平成２０年度から減少し続けていたが、近年は下げ止まり傾向となっており、また、木材生産量１０万㎥あたりの発生頻度は全国では高い水準となっている（ワースト３位）。

木材生産作業のうち、特に災害発生頻度が高いのは「伐採」と「集材」作業であり、全体の半分以上を占めている。これらの危険な作業から作業者をできる限り分離させることができれば、「誰もが携われる安全で効率的な林業」の実現に繋がる。

今回、無人伐採作業車と自動走行運搬車を使用した作業システムの実演を行い、今後県内での普及の可能性について検討する。

検討会は、岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアムの木材生産改善委員会で木材生産・路網開設の効率化に向けた取組みとして開催する。

【参考：使用するスマート林業機械の概要】

〇無人伐採作業車（シンラプトルⅡ）

遠隔操作で立木を伐倒・集材する無人作業車。オペレーターは、スマートグラスを装着し、ボタン操作により伐採・集材作業を行う。



〇自動走行フォワーダ

フォワーダは造材された木材を荷台に積込み運搬する集材用の車両。自動走行フォワーダは、レーザー光により自らの位置をリアルタイムで推定し自動走行する。



（※）岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアム

〇目　的：森林・林業・木材産業に関する会員からの技術的な相談に対応するとともに産学官連携・海外連携による、共同研究・開発、交流・研修により新たな技術の開発やその普及を図る。

〇設　立：平成２６年９月１９日

〇理事長：涌井（わくい） 史郎（しろう）（岐阜県立森林文化アカデミー学長）

〇会　員：１２０者（Ｒ８．９．３０現在）

〇主な事業

（１）各種会議の開催

（２）共同研究活動（テーマ別に４つの委員会を設置）

①新たな森林経営委員会、②森林整備・育成委員会、③木材生産改善委員会、④木材利用拡大委員会

（３）木材研究施設の利用に対する助成（県有試験研究施設等の利用助成）

（４）交流研修会の開催

（５）要望活動の実施

〇コンソーシアムＨＰ　：

https://www.forest.ac.jp/company/consortium/